

議員活動自己検証シート（公約の取組）		（対象期間：令和6年度）		会派名	
				三輝会	
				期数	（議員歴）
				3期	（9年）
議員名		検証項目(10項目)		所属委員会等	
藤井憲一郎		【検証値の捉え方】 1年間の議員活動・取組内容については…… 「ほぼ満足している」=“○” 1.0 「さらに努力する余地があると思う」=“△” 0.5 「思ったような取組ができていない」=“▼” 0		総務常任委員会 予算決算常任委員会 議会運営委員会 副委員長 備北地区消防組合議会 副議長	

公約を検証する背景（根拠） 議会基本条例前文「市民の代表として選ばれている議員は、市民の負託にこたえる責務を負っている」/21条「この条例の目的及び趣旨の達成状況について検証を行う」

検証の対象/分野 議会基本条例第4条 議員活動の原則/議会活動の活発化「住民参画」「情報共有」「機能強化」分野の取組について（早稲田大学マニフェスト研究所文献引用）

検証方法 「公約」について、成果如何に拘わらず、その実現に繋がる年間の議員活動・取組内容を自己検証する（本シートに記載する公約内容は自由選択：重複可）

- 議会基本条例第4条（議員活動の原則）
- ① 選挙によって選ばれた市民の代表であることを自覚し、市政の課題全般について市民の思いを的確に把握し、市民全体の福祉の向上をめざすこと。【情報共有】【住民参画】
  - ② 議会が言論の場であること、及び合議制機関であることを認識し、議員相互間の自由な討議を重んじること。【機能強化】
  - ③ 日常の調査及び研修活動を通じて自らの資質の向上に努めること。【機能強化】
  - ④ 地方自治の本旨にのっとり、政策、条例、意見書等の議案を提出する努力をすること。【機能強化】
  - ⑤ 市政の課題に関する論点を市民に明らかにするため、一般質問を一問一答方式により行うこと。【機能強化】【情報共有】

（公約1）安心して生活できるまちづくり		地域要望や住民ニーズに応じた、安心・安全なまちづくり		検証	1年間の主な活動・取組内容、または、取り組めなかった事項と理由等 注）検証に繋がる活動等、成果等（事業の見直し等）を記入すること。
	<b>住民参画</b> 3point <b>情報共有</b> 3point <b>機能強化</b> 4point	(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	○	○	河川の氾濫への不安の声に応え、地域の意見を取り纏め広島県土木に要望し、河川監視カメラの設置に至った。
		(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	○	○	
		(3) 住民自治組織活動や地域活動など、まちづくりへの参加・実践	○	○	
		(4) 現場調査・現状確認、聞き取り、先進事例等の調査研究活動	○	○	三次市危機管理課や三良坂支所等と連携しながら三次警察署に働きかけ、新興住宅地の道路に横断歩道を設置するに至り、子供たちの安全な通学に寄与することが出来た。
		(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	○	○	
		(6) 地域等における報告会の開催やSNS、チラシ・広報誌等による情報発信	△	△	
		(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	△	△	大雨時の「山瀬」への対応を伺っているが、排水路の整備など根本的な解決に至っていない。支所や消防団との情報共有に留まっている。
		(8) 議員間討論への積極的な参加、会派内での情報共有の徹底	△	△	
		(9) 各種計画書の分析、条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	△	△	
		(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	○	○	
(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10)	1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 0.5 0.5 0.5 0.5 1.0	値合計	8.0		

（公約1）安心して生活できるまちづくり		高齢者福祉への課題解決		検証	1年間の主な活動・取組内容、または、取り組めなかった事項と理由等
	<b>住民参画</b> 3point <b>情報共有</b> 3point <b>機能強化</b> 4point	(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	○	△	地元での意見交換会では、将来的に介護サービスを受けられるのか不安の声を聴く。健康福祉まつりにもボランティアスタッフとして参加。セニアカー等の最新の介護用品についても知識を得た。
		(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	△	△	
		(3) 住民自治組織活動や地域活動など、まちづくりへの参加・実践	△	△	
		(4) 現場調査・現状確認、聞き取り、先進事例等の調査研究活動	○	○	高齢者療養型病院や介護事業所へ定期的に訪問し、生の声を聴き現状課題の把握に努め、担当部局である福祉保健部とも制度の確認を行っている。国策に左右される部分も多く、人材不足については根本的な解決に至っていない。
		(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	○	○	
		(6) 地域等における報告会の開催やSNS、チラシ・広報誌等による情報発信	△	△	
		(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	○	○	介護事業所の人材確保・定着について、本会議一般質問において、新しいアイデアを提案したところ、新規事業として外国人実習生への補助金が予算化された。
		(8) 議員間討論への積極的な参加、会派内での情報共有の徹底	○	○	
		(9) 各種計画書の分析、条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	○	○	
		(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	○	○	
(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10)	1.0 0.5 0.5 1.0 1.0 0.5 1.0 1.0 1.0 1.0	値合計	8.5		

（公約2）ふるさとの宝物を活かしたまちづくり		観光の推進と食とスポーツを通じたまちづくり		検証	1年間の主な活動・取組内容、または、取り組めなかった事項と理由等
	<b>住民参画</b> 3point <b>情報共有</b> 3point <b>機能強化</b> 4point	(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	○	○	道の駅「ゆめランド布野」や「君田温泉」等、地域の賑わい創出に欠かせない施設について、直接訪問し、意見を聞いたり、地域のお祭りやイベントには積極的に参加することにより、不特定多数の市民との意見交換や情報収集につなげた。
		(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	○	○	
		(3) 住民自治組織活動や地域活動など、まちづくりへの参加・実践	○	○	
		(4) 現場調査・現状確認、聞き取り、先進事例等の調査研究活動	○	○	三次市の活気を全国に発信できるよう、お祭りやイベントの様子をSNSで発信しているが、更にチャンネルを増やす等の余地はある。
		(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	○	○	
		(6) 地域等における報告会の開催やSNS、チラシ・広報誌等による情報発信	△	△	
		(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	○	○	新年度より発足する女子硬式野球チーム「三次ブラックパールズ」の選手増強について提案した。そのための下調べとして、女子野球タウンである廿日市市の担当部局や、実績のある女子硬式野球チーム「廿日市サンブレイズ」の広報担当への情報収集を行った。
		(8) 議員間討論への積極的な参加、会派内での情報共有の徹底	△	△	
		(9) 各種計画書の分析、条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	△	△	
		(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	△	△	
(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10)	1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 0.5 1.0 0.5 0.5 0.5	値合計	8.0		

公約に係る年間の議員活動・取組状況の検証と次年度の目標設定や課題の抽出

<b>安心して生活できるまちづくり</b> 地域要望や住民ニーズに応じた、安心・安全なまちづくり 	<b>活動の一コマ</b> 議員活動による成果 （左：河川監視カメラ設置、右：横断歩道設置） 	<b>課題の抽出・次年度の目標設定</b> 活動報告について、SNSはほぼ毎日更新しているが、報告会は年に一度、文書の発行は出来おらず、市民に対する情報提供にまだまだ余地がある。  国への提言や意見書の提出に結び付けられていない。次年度には出来るよう取り組む。  本市（個別地域を含め）の賑わい創出について、どんな方法で、何で「尖る」のか引き続き調査研究していく。
<b>安心して生活できるまちづくり</b> 高齢者福祉への課題解決 		
<b>ふるさとの宝物を活かしたまちづくり</b> 観光の推進と食とスポーツを通じたまちづくり 		